

檜生原

ひ
さ
は
ら



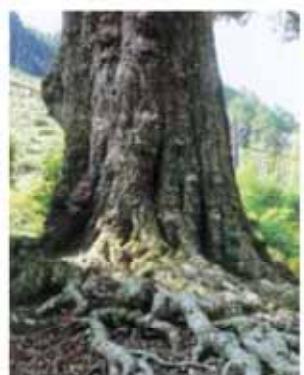
井細川の右岸を上流に向けて進路をとる。この県道、元々は折合の国有林から木材の搬出用に造られたトロッコ道である。「それは太い木があつたぞね。1本丸太の向こうの大人が見えざつた」1本ウン百万円する檜がギューギュー生えていたことだろう。そんな檜の生える原だが、どうしてどうして整備された水田も開け、水稻、生姜、ニラなどが栽培されている。井細川の左岸側には立派な町道が舗装され、川には数本の橋も架かりどこに行くにも便利な40戸あまりの集落である。えてして集落には同姓が多いものであるが、ここ檜生原も山地、山崎、山脇さんと「山」のつく姓が多い。

ここは空気が違う。脳天に通る。川上の源流域には侵すべからずという信条が形成され申し合わせたように一部を主体的に残している。檜生原の奥山にもそうした所があり、水源かん養保安林として管理されている。「井細の流れ清

**珍景勝、
高い方へ川が流れる？**

檜生原より井細川を車で20分ほど登ると不思議な所に行き着く。そこは「逆島」という所で、沢の水が谷間にそて下つてきて、その場所でV字ターン。水は山の奥へと入る。水は低い方へ必ず流れ。だから奥山の方が低いといふことは理屈では解かるが、これから登る山の方へ流れるのでおもしろい。上空から見てみたい。地元の人も言っていた。「何とか売り出したい」と。

く澄み光さやかな朝のまど」と今はなき檜生原小学校の校歌にもあるように、郷土を災害から守り、きれいな水、きれいな空気の供給源になっている。五臓六腑に染み透る空気である。



シイの大木

町の人口

(11月1日現在)

(男性)	9,455人
(女性)	10,533人
(計)	19,988人
(世帯数)	8,832世帯

平均年齢

(11月1日現在)

(男性)	49.4歳
(女性)	54.3歳
(全)	52.0歳

四万十川流域の 水質状況 四万十川測定地点

項目	単位	基準値	9月16日
水温	℃	-	28.7
pH		6.5~8.5	7.6
BOD	mg/l	1.0以下	<0.8
SS	mg/l	25以下	1
DO	mg/l	7.5以上	8.9
大腸菌群数	MPN/100ml	5.0以下	170

(注記1) 测定値は全て濃縮値です。(注記2) 基準値は平均濃度を基準とした許容値です。(国土交通省中村川河川整備事務所提供)

●四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

◎広報『四万十町通信』はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)